

コンパクトなまちづくり

富山市を取り巻く課題

① 人口減少と超高齢社会

⑤ CO2排出量の増大

② 過度な自動車依存による 公共交通の衰退

⑥ 市町村合併による 類似公共施設

③ 中心市街地の魅力喪失

⑦ 社会資本の 適切な維持管理

④ 割高な都市管理の 行政コスト ⑧ 平均寿命と健康寿命の 乖離

富山市のまちづくりの基本方針

公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり

<概念図>

お団子と串の都市構造

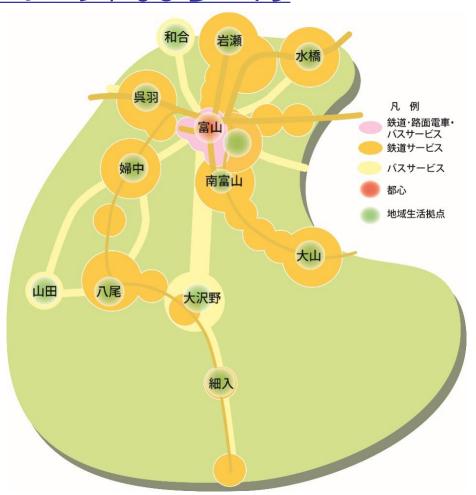
串 一定水準以上のサービス

・レベルの公共交通

お団子:串で結ばれた徒歩圏

<実現するための3本柱>

- ①公共交通の活性化
- ②公共交通沿線地区への居住推進
- ③中心市街地の活性化



中心市街地に集中投資 → 地価上昇 & 税収確保 → 税を市全域に投資

コンパクトなまちづくり

①公共交通の活性化

富山駅を中心に放射状の ネットワークを形成

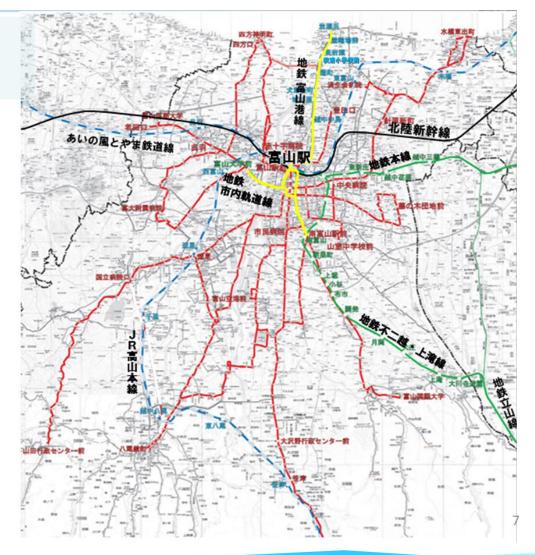
■鉄軌道(7路線)

- 北陸新幹線
- あいの風とやま鉄道線(並行在来線)
- JR高山本線
- 地鉄本線・立山線
- 地鉄不二越・上滝線
- 地鉄市内軌道線 (環状線含)
- ・ 地鉄富山港線 (旧富山ライトレール)

■路線バス

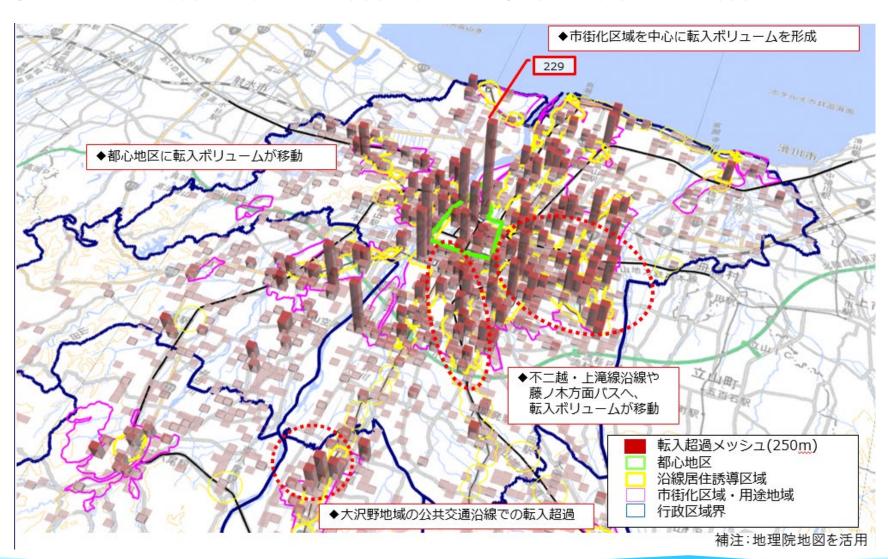
・富山地方鉄道㈱が運行するものを 中心に約70系統





コンパクトなまちづくり

②公共交通沿線地区への居住推進と③中心市街地の活性化



コンパクトなまちづくりの効果

①人口の維持力

【人口増減等の比較(令和2年1月1日~令和2年12月31日までの1年間】

	人口(人)R3.1.1	増減数(人)	増減率(%)
全国(日本)	126,654,244	▲ 483,789	▲0.38
富山県	1,047,713	▲8,286	▲0.78
富山市	414,102	▲ 1,663	▲0.40
富山市以外	633,611	▲ 6,623	▲1.03

【富山市の人口動態(令和2年1月1日~令和2年12月31日までの1年間】

出生(人)	死亡(人)	転入等(人)	転出等(人)	合計(人)
2,835	4,711	10,947	10,734	▲ 1,663

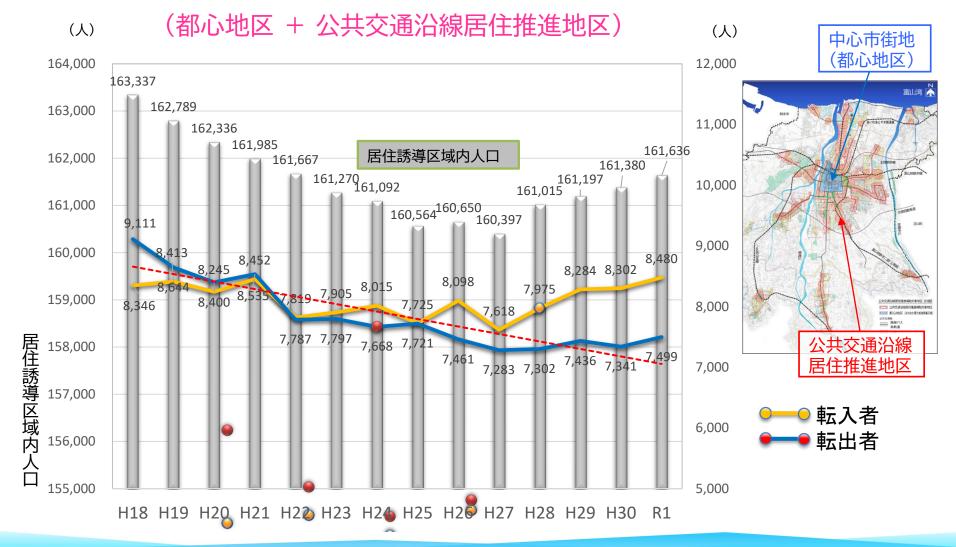
1,876人の自然減

213人の社会増(転入超過)

〇出典 総務省:住民基本台帳に基づく人口動態調査(R3.8.4発表) ※外国人を含む

コンパクトなまちづくりの効果

②居住誘導区域内人口の増加



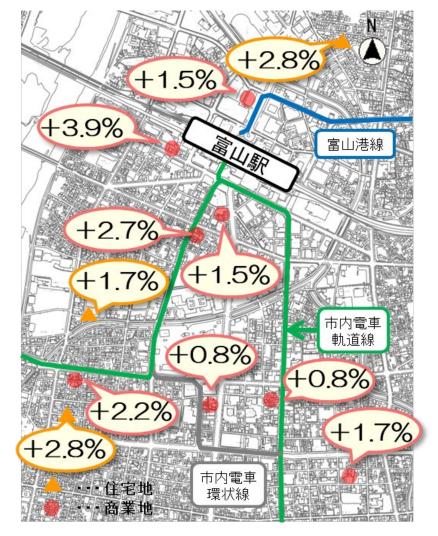
コンパクトなまちづくりの効果~地価調査(R3年7月1日)結果~

③地価の上昇

【地価が上昇した地点】







コンパクトシティ政策の深化

富山市のまちづくりの第4ステージ

成果

- ・コンパクトシティ政策による公共交通 の活性化等、都市インフラの整備
- ・まちなか、公共交通沿線居住が促進 (約4割が中心/沿線に居住)
- ・公共交通の利便性が向上

・人口減少率の鈍化

今後の課題

- ・豊かな暮らしの実感、QOLの向上
 - → 市民主体のまちづくり・地域づくり
- ・郊外部や中山間地の住民(約6割)の持続 可能な生活
 - → 串とお団子エリア以外の将来ビジョン
- ・未だに多い車移動(変わらない価値観)
- ・コロナ禍の影響(変わった価値観)
 - → ニューノーマルな社会への対応
- ・止まらない少子高齢化と、それに伴う税収の減少や扶助費の拡大
 - → 新産業の創出等による税収の確保

解決

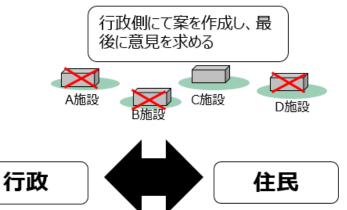
コンパクトシティ政策の"深化"

リーディングプロジェクト事業

- ■郊外や中山間地域のお団子エリアについては、民間主導の開発が進みにくいことから、 複数ある老朽化した公共施設の複合化を契機として、その跡地を活用した民間施設の 誘致を図るなど、多世代交流及びまちの活力向上を狙いとした地域活性化を図るもの。
- ■公共施設の複合化の計画及び跡地に必要とする都市機能については、地域課題の解決を目指し、住民が主体となって検討している。

計画決定プロセスが**不透明**→**"反対"の一因**に

従来は・・・



行政・民間・住民の三位一体で地域課題の解決 複合施設の整備・余剰地活用をPPP事業で実施

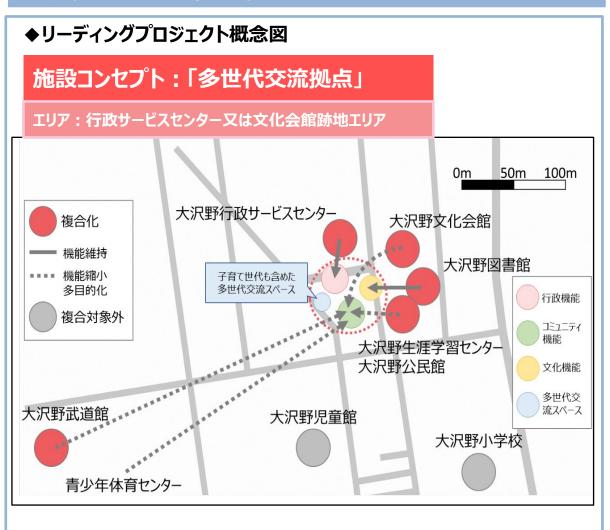


子どもたちに負担が残らないようにして欲しい

小さくてもいいから図書 館は欲しいな

富山市〈大沢野地域〉リーディングプロジェクト

リーディングプロジェクトの整備方針

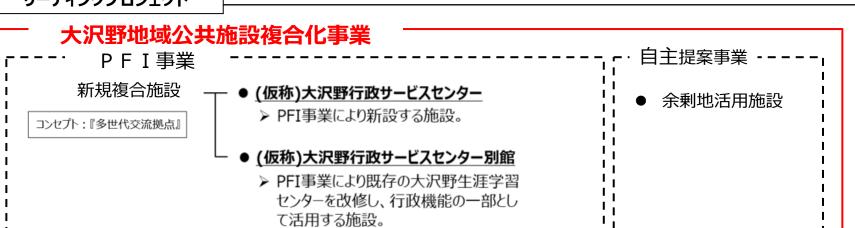


◆整備する施設の内容

- 大沢野行政サービスセンター、文化会館、図書館、生涯学習センター、公民館、武道館、 青少年体育センターの機能を持つ複合施設を整備します。
- 大沢野行政サービスセンターの<u>施設規模は</u> 縮小しますが、現在のサービス機能は維持し ます。
- ・ 大沢野文化会館、大沢野武道館、青少年 体育センターの機能は<u>多目的スペースとして</u> 確保します。
- 子育て世代も含めた多世代が交流できるスペースを確保します。
- 行政サービスセンターには、災害時にインフラ 等の復旧を行う部署を配置していくことから、 庁舎は災害に対してより堅牢なものとします。
- 地域の皆様に親しまれ、誇りをもてる外観・デザインとなるような設計とします。

富山市〈大沢野地域〉リーディングプロジェクト





【大沢野地域公共施設複合化事業】

- ・ 大沢野新規複合施設(行政サービスセンター)
- 大沢野生涯学習センターをリノベーションして活用する施設(大沢野リノベ施設)
- 余剰地活用施設



富山市〈大沢野地域〉リーディングプロジェクト

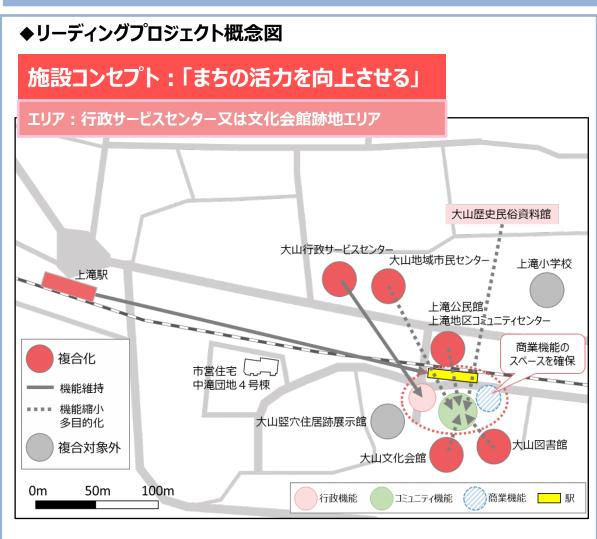
スケジュール 令和5年度 令和7年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和6年度 (2020)(2021)(2022)(2023)(2024)(2025)·大沢野新規複合施設 設計、解体(一部)、整備 供用開始 事業者公募 ・大沢野リノベーション施設 改修 供用開始 6月 契約 債務 3月 負担 事業 ·余剰地活用施設 提案による(新規複合施設完成後、概ね2年以内に完成することを条件とする) (任意提案)





富山市〈大山地域〉リーディングプロジェクト

リーディングプロジェクトの整備方針



◆整備する施設の内容

- 大山行政サービスセンター、大山文化会館、 大山地域市民センター、上滝地区コミュニ ティセンター、上滝公民館、大山図書館、 大山歴史民俗資料館の機能を持つ複合施 設を整備
- 大山行政サービスセンターの<u>施設規模は縮</u> 小するが、現在のサービス機能は維持
- 集会機能やホール機能は、多様な使い方が 可能なように確保
- <u>商業機能のためのスペースを確保</u>し、地域に 不足している物販施設の導入を検討
- 駅について、実現可能性について今後検討
- 再生可能エネルギーを積極的に活用し、環境にやさしい施設整備を検討
- 地域に親しまれ、誇りをもてる外観・デザイン となるような設計

富山市〈大山地域〉リーディングプロジェクト

リーディングプロジェクト

大山地域公共施設複合化事業 PFI事業 新規複合施設 (新規整備施設) ● (仮称)大山行政サービスセンター > PFI事業により新設する施設。 (解体施設) ・大山行政サービスセンター・大山文化会館 ・地域市民センター・図書館等

公有地活用事業

余剰地活用事業

- 跡地活用施設
 - ・ 施設解体後の跡地を商業施設利用を目的に民間 事業者へ貸し付ける

【大山地域公共施設複合化事業】

大山地域の新規複合施設の整備、既存施設解体撤去、維持管理をPFI-BTO方式(サービス購入型)で実施する。

【公有地活用事業】

- 新規複合施設が完成し、既存の大山行政サービスセンター、地域市民センター、情報公開センター 解体後の跡地を商業施設での利用を目的として 民間事業者に貸付ける。
- 事業者は公募することとし、事業用定期借地権 設定方式を採用する予定。



富山市〈大山地域〉リーディングプロジェクト

スケジュール

令和4年度 (2022) 令和5年度 (2023) 令和6年度 (2024)

地元 調整 事業者公募 ·契約 債務 負担 事業 契約

設計、解体(一部)、整備

新規複合施設供用開始

解体

跡地活用施設の整備 ・営業開始

新規複合施設部分



公有地活用部分



コンパクトシティ政策の深化

富山市版スマートシティの実現

コンパクトシティ政策の"深化"に向けて

- ・これまでのコンパクトシティ政策の成果を最大限に活かしながら、 新たな課題の解決に取り組む。
- ・暮らしの利便性を高め、市民一人一人の生活の質(QOL)のさらなる 向上を図り、政策の果実を市域全体に広く行き渡らせる。



深化のための"手段"としての「デジタル技術」の活用



富山市版スマートシティの実現

ご清聴ありがとうございました

TOYAMA CITY